

議長定例記者会見 会見録

日時：平成30年4月13日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の発言事項

○新年度を迎えての抱負

2 質疑項目

○間仕切り工事の費用について

○次の県議会議員選挙の周知について

1 発表事項

○新年度を迎えての抱負

(議長)おはようございます。ただ今から、4月の議長定例記者会見を開催させていただきます。

本日は、発表事項が特にありませんが、平成30年度のスタートにあたり、少し抱負などを述べさせていただきたいと思います。

新年度を迎え、議会事務局は新しい体制となりました。4月2日には新しく転入あるいは採用となった職員に対し、私から人事異動の発令等を行ったところであります。議会事務局の職員におかれては、今までも我々議員を様々な場面での確にサポートしていただいておりますが、今回も適材適所に職員を配置いたしましたので、引き続き適切な確なサポートをいただけるものと思っております。

また、この4月から新しい会派の結成、会派の異動があり、三重県議会は過去最大の10会派という体制となりました。今後はこれまで以上に丁寧な議事運営に務め、二元代表制の一翼を担う機関として、様々な合意形成が円滑に進むよう務めてまいりたいと考えております。

なお、すでに資料提供もさせていただいておりますが、現在三重県議会では、「三重県議会基本条例の一部改正案」と「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例案」に対するパブリックコメントを行っております。

報道機関の皆様方におかれましては、できるだけ多くの意見が寄せられますよう、改めて県民の皆様への周知についてご協力をよろしくお願いいたします。私からは、以上です。

2 質疑応答

○間仕切り工事の費用について

(質問) 本年度もよろしくお願ひします。抱負でも述べられたとおり、新しい会派ができ、異動がありということで、それに伴って会派数が少し変わると思ひます。当然費用の負担についても発生すると思ひますがそのあたりを県民の皆様にどのように説明されますか。

(議長) どういう意味ですか。

(質問) 県民の皆様の税金みたいなものを使って少し場所を整えたりしないといけない。県民の方の負担が多少生じるともいえますが。

(議長) 間仕切りの質問ということですか。

(質問) そうですね。

(議長) 会派の異動、会派の結成については、それぞれの議員の皆様が御判断され考えをいつにするグループで会派を構成されたわけですから、それを私の方からはコメントはできないと思ひますが。それぞれの議員の御判断です。それに伴って、過去最大の10会派ができました。県議会の会派で意思統一をするような議論をとりわけ大きなところ(会派)はされてみえますので、その議論をする環境は最低限やっぱり整えなければならないというふうに思ひます。そうした中で任期も1年しかありませんから、各会派のご了解をいただきながら、最低限の環境改善に向けた取組をさせていただいたところですが。会派の変更に伴う環境の変化ですからやむを得ないというふうに考へております。

○次の県議会議員選挙の周知について

(質問) いよいよ次の県議会選挙まで残り1年となりますけれど、そこに向けての今度また選挙があるということを議会として、また、周知していくというのとはどんなことを考へていらっしゃるのでしょうか。

(議長) 議会の選挙制度の周知ですか。

(質問) また、選挙が次もうすぐある。間近にあるということを伝えていくということが来年、投票率の向上を考へると大事かと思ひますが。そのあたりはどうお考へでしょうか。

(議長) 議員それぞれの準備を当然していくでしょうから立候補をされる予定

の方々は、それに向けて選挙がありますよというPRはそれぞれされると思いますし、それから、今回の45人、51人の選挙制度についてもそれぞれの議員のみなさんが、やっぱり、触れなければならない課題だと思います。ただまあ、投票率の向上の問題は、正直、議員がするよりも、選挙管理委員会さんがさまざまなご努力をいただいておりますのでそれに期待したいなあとは思っています。

(以 上) 10時37分 終了